アクションプラン

基本理念	情報化目標	情報化基本方針	アクションプラン名 ※前施策を見直し、太字表記は、新たなプランとして取り組みます。
人と地域がICTでよりよくつながり　安全・安心と活力のあるまち　薩摩川内	魅力があふれるまちづくり	安全・安心なまちづくり	・1101 防災情報システムの運用
			・1103 消防・救急におけるICT化についての調査研究
			・1104 IoTを活用した災害発生予測や監視についての調査研究
			・1105 きめ細かな防災・気象情報の発信
			・1106 下水道管理システムの整備・管理・運用
			・1108 次世代エネルギーにICTを活用したまちづくりの調査研究
			・1109 情報発信強化による移住・定住の促進
			・1110 効率的な行政情報システムの維持・実現
			・1111 情報セキュリティ対策の充実
			・1112 道路台帳・準用河川台帳のデジタル化
			・1113 排水機場・排水ポンプ及び樋門・樋管の管理システムの調査・研究
		暮らしたいまちづくり	・1201 母子保健情報の情報発信をするためのHP及びアプリの運用管理
			・1202 地域包括ケアシステムの拡充
			・1203 ポイント付与方法についての調査研究
			・1204 PHRによるICT利活用の調査・研究
			・1206 甑島での遠隔診療や電子情報の共有手法について、調査・研究
			・1207 SNSへの定期的な食材の紹介による、食育及び地消地産の推進
			・1208 文化財等データベースの構築
			・1209 ICTを活用した更なる生涯学習機会の創出
			・1210 学校現場におけるタブレット端末活用や校務システムの導入に向けての調査・研究
			・1211 ICT支援員の活用
			・1212 郷土史等の電子データ化及び一般図書の電子化の調査
			・1213 ICTを活用したオンライン保健指導
			・1214 直売所等のオープンデータ化
			・1215 ICTを活用した甑ミュージアムの情報発信及びデータベースの構築
			・1216 都市公園等の情報提供の拡充（オープンデータ化）
		働きたいまちづくり	・1301 ICTを活用したブランドセールスの強化
			・1303 テレワークを活用した甑島における雇用促進
			・1304 農業のICT化支援
			・1305 漁業のICT化支援
			・1306 情報発信強化によるスポーツ振興
	個性がかがやくまちづくり	地域資源を活かしたまちづくり	・2101 ICTまちづくり基盤整備の調査・研究
			・2102 住民活動情報サイトの運用・管理
		地場企業の連携によるまちづくり	・2204 観光スポットへのWi-Fi環境整備の検討
	まちづくりを支えるICT環境づくり	まちづくりのICT基盤を整備する	**・3101 光ファイバ網を利用し、Society5.0社会を目指した行政サービスの検討**
			・3102 ICTを活用した市政情報の発信
			・3103 オープンデータ登録の推進
			・3104 マイナンバーカードを活用した市民サービスの検討
		まちづくりのICT人材を育てる	・3201 ICT人材育成

問合先　薩摩川内市　企画政策部　情報政策課
TEL：0996-23-5111　E-mail：chiikijoho@city.satsumasendai.lg.jp

薩摩川内市情報化推進計画（案）概要版

基本理念

人と地域がICTでよりよくつながり 安全・安心と活力のあるまち 薩摩川内

計画策定の趣旨・目的

本市では、平成27年3月に策定した、第2次総合計画（前期）に基づき、地域の主体的なまちづくりの推進や市内外への積極的な情報発信、多様な人材の育成、交流を促進する快適で利便性の高い社会基盤の整備・充実など一定の成果を挙げることができました。

こうした中、少子・高齢化の進行、人口減少社会の到来、市民ニーズの多様化、厳しい財政状況、新型コロナウイルス感染症対策による「新しい生活様式」による働き方とし、テレワークやオンライン会議の実践など、社会情勢もめまぐるしく変化し、本市の取り巻く環境も大きく転換期を迎えています。

そこで、市民一人ひとりが今まで以上にきめ細かいサービスが享受できる社会の実現、防災や見守り等よる地域課題の自発的解消の促進など、ICT・IoT・AI・RPA等を活用することで、より充実した行政のデジタル化実現を目指します。

策定にあたり、次期の第3次総合計画を見据え、本市のスマートシティ構想を意識しながら、国が推進しているSociety5.0を実現するための取り組みや本市の抱える諸問題を解決する「仕組み」作りに、ICT等を活用しつつ、継続的に住民の満足度を高められるように取り組むことを目的とします。

計画の位置付け

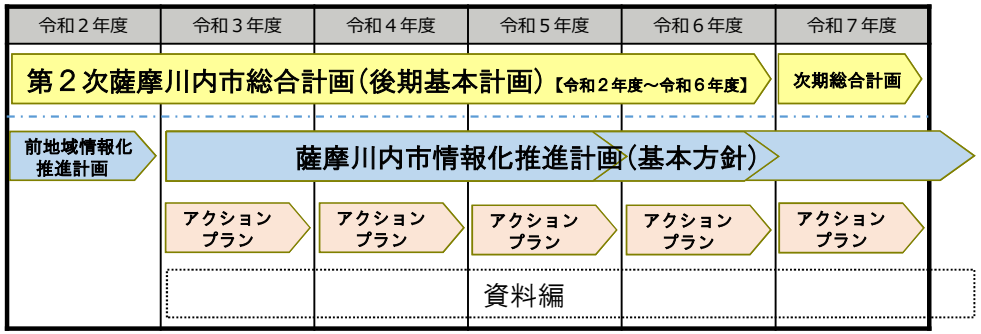
本計画は、第2次総合計画（後期）の下位計画として位置付け、本市におけるICTの効率的な活用等による情報化を推進します。

また、平成28年12月に成立した「官民データ活用推進基本法」第9条第3項に規定される「市町村官民データ活用推進計画」としても位置けるものとし、国や県の計画と整合を取りながら、必要な施策を推進します。

計画の期間と構成

計画期間は、昨今のICTに関わる技術やサービス等の進展や変化は著しく多様化しており、これまでと同様な中長期的な計画の策定では、取り組み内容が現状とはそぐわない内容となることや、国の大規模な制度改正等の動きに柔軟に対応が出来ないことが想定されるため、「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」の基本方針及び社会情勢や技術の動向等の変化に応じて、適宜見直すこととし、特に期限を定めないものとします。

これらを踏まえ、情報化推進計画の構成は、本市の情報化を着実に進めるための指針である「基本方針」、情報化推進に係る具体的な取り組みを毎年成果確認し、社会情勢や技術の動向等の変化に柔軟に対応した取り組み内容に更新していく「アクションプラン」、計画策定時の国・県の動向や市の現状を取りまとめた「資料編」の3部構成とします。



情報化の基本理念と目標

本市では、総合的な経営方針を示した「第２次薩摩川内市総合計画（後期）」の基本理念、将来都市像、施策体系を踏まえ、取り組みを進めているところです。

施策を推進していくためには、市民と市が共に“つながり”、これまで築いた地域性を更に活かした活力と魅力のある地域が“つながり”ながら、お互いが尊重し、それぞれの役割と責務を認識し、協働していくことが期待されています。

そこで、『***人と地域がICTでよりよくつながり***』ながら、『***安全・安心と活力のあるまち***』を目指して、アクションプランを着実に推進し、総合計画の将来都市像の実現に寄与していきます。

人と地域がICTでよりよくつながり
安全・安心と活力のあるまち
薩摩川内

情報化基本理念

本市の市域は広く、都市文化、田園文化・海洋文化の各ゾーンにおいて、様々な営みがあり、各地域や各産業が抱える課題は多様化しています。

こうした各地域や各産業が抱える課題を克服するべく、新しい地域形成のあり方や、企業連携による産業課題の解決など、地域の個性を活かした仕組みの構築が期待されています。

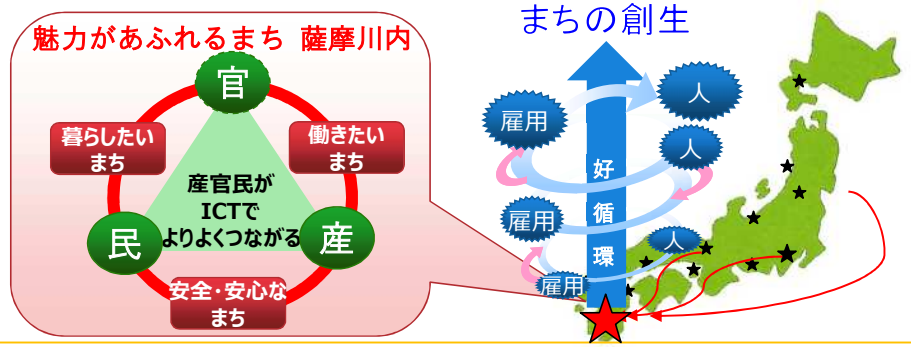
このため、**「地域資源を活かしたまちづくり」「地場企業の連携によるまちづくり」を実現**していきます。



情報化の目標１
魅力があふれるまちづくり

少子高齢化や地域経済の停滞など、地方都市が置かれる状況がますます厳しくなっているなか、今後も本市が持続可能なまちづくりを行っていくためには、人口減少や産業の振興等による雇用の創出増加、働く人・住む人、訪れる人の増加、そして若い家族等が安心して生活を営み、子供を育てられる環境を作り出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻していく方策の推進が求められています。こうした取り組みに際しては、行政だけではなく地域が一体となり取り組むことが重要となります。

このため、**「安全・安心なまちづくり」「暮らしたいまちづくり」「働きたいまちづくり」を実現**していきます。



情報化の目標２
個性がかがやくまちづくり

情報化の目標３
まちづくりを支えるICT環境づくり

ICTを利活用するためには、情報通信環境の整備はもちろんのこと、ICTを活用出来る人材育成が必要となります。令和３年度より、順次、光回線ブロードバンドサービスエリアが市内全域に整備されることで、市民の情報格差を是正し、「魅力があふれるまちづくり」や「個性がかがやくまちづくり」の実現に向け、アクションプランを着実に進めながら、ICTを利活用することで、諸問題の解決や新たな価値の創造が期待されます。

このため、**「まちづくりのICT基盤を整備する」「まちづくりのICT人材を育てる」環境づくりを実現**していきます。

